

令和4年第12回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和4年12月16日 午後3時30分
- 2 閉会 令和4年12月16日 午後4時30分
- 3 会議に出席した委員
金田真也委員教育長職務代理者 太田孝雄委員 高崎佐智江委員
田中早苗委員
- 4 会議に欠席した委員
鈴木欽也教育長
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増山禎之
教育総務課長 大羽浩和
学校教育課長 近藤智彦
生涯学習課主幹 太田征樹
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課主事補 井上郁美
- 6 議事日程
別紙のとおり

田原市教育委員会第 回定例会議事日程

日 時 令和4年12月16日(金)

午後3時30分

場 所 南庁舎4階 政策会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

(1) 教育委員連絡報告事項

(2) 田原市議会第4回定例会一般質問について

(3) 中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について

4 その他

教育長職務代理人

開 会 午後3時30分

それでは、時間になりましたので、始めさせていただきます。
本日は何かとご多用のところご出席いただきありがとうございます。
す。

教育長から欠席のご連絡がございましたので、今回は職務代理者の私の方で委員会を進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

ただいまの出席者は4名であります。定足数に達していますので令和4年田原市教育委員会第12回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

教育長職務代理人

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご兩名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長職務代理人

続いて、大きな2番目、教育長報告事項であります。本日は教育長が欠席されています。教育長報告については、お手元の資料のとおりであります。

前回の第11回の定例会以降の行事などについてまとめてございますので、ご確認いただきたいと思います。

教育長職務代理人

続いて大きな3番目、報告事項に移ります。

初めに、(1)教育委員連絡・報告事項について各委員の皆さんから連絡・報告などについて順次お願いしたいと思います。

初めに私からご報告させていただきます。

11月13日、実業団対抗駅伝競走大会の予選にセントファールのスタート地点で観戦させていただきました。スタートした後、その後QRコードからログインして、家で時々見させていただきました。一言で言うと便利になったなあ、そういった感想です。

また、実際に見たアスリートは、画面で見るよりも格好よかったです。大会を盛り上げるためには、スポンサーや報道の力が大きいなどそのように感じさせていただきました。

次に、11月18日男女共同参画推進懇話会に出席いたしました。

田原市男女共同参画推進プラン2の見直しということで、意見交換がされたのですが、ほとんど女性の方が発言されていました。

最後の方で男性の方に意見が求められて、自分の意見としましては、男性優位な社会については違いないですけど、ただ一方的に内容を変更しても周りがついてこなければ反発を買ってしまうという内

容を伝えようとしたのですが、なかなか伝え方が難しいなと思いました。

ただ、最後、報告事項のところでも田原中部小学校の学芸会、伝統劇 嶺山劇で初めて女の子がやるということを紹介したら、拍手喝采が起こるくらい喜んでいただきました。学校現場では、男女共同参画に積極的に取り組んでいるということアピールさせていただきました。

続いて11月24日、神戸小学校の3年生校外学習の案内人を務めさせていただきました。新美には、潮海山という標高海拔27メートルで愛知県一低い山で女人禁制という特殊な山なのか丘なのか分からないそういった山があります。あと新美古墳といって約1,400年前の円墳があるのですけれども、そこに小学校3年生の子を案内いたしました。1、2分で登れる山に登れば、ほこらがあったり、竹林を進むと古墳があって、穴に入るとコウモリやヘビが出てきて大騒ぎだったのですけれども、探検みたいで楽しそうでした。

生徒はあらかじめいろいろ調べてきて、質問をいただきました。また、時間が余ったら自分からも問題を出したりして、深い学びに関わられたのかなとそんなふうに感じました。

中央図書館の方だったり、資料を調べてもらったりだとか、田原の文化財に詳しい方に入れ知恵をしてもらって臨んだおかげで、質の高い授業ができたのではないかと、そのように感じさせていただきました。

続いて、11月26日の午前中に田原市小学校の音楽会に参加させていただきました。

最初の生徒の挨拶に注目しました。2年間中止になってしまったため、僕たち6年生にとっては初めてで最後の音楽会というので、南部小学校の生徒の言葉と歌うのが大好きな人が集まって歌いますという衣笠小学校合唱部の女の子のその一言が印象に残りました。全体的に無理に金管楽器は使わずに、はやりの歌を、Y O A S O B I だとか、菅田将暉だとかそういった歌を歌いながら、限られた練習時間の中で力を発揮できるように先生方も工夫をしてみたというのが印象的でした。

それから、演奏する側だけでなく、聞く側も真剣ですばらしい音楽会だったのかなと、そのように思いました。

そのほか2点あります。

次は、12月4日に、「いいんだよ」は魔法の言葉というタイトルの講演会に参加させていただきました。

不登校の自立支援に取り組む立花高校の校長の講話ですけれども、自分自身にとってとてもタイムリーな話だったから参加させていただきました。一番印象に残った言葉は、無意識に○と×の線を引いて、差別や偏見の目で見ているときがあることに気づかされました。それと同時に、自分自身学校に通っているときの不登校の人に対する見方

太田委員

と、自分自身が大人になった今の見方はやはり違うので、この不登校だとか引きこもりというのは根深い問題だなというように感じさせていただきました。

12月10日は、クラシック音楽コンクールで生のバイオリンを生まれて初めて聞きまして、上品で穏やかな時間を過ごさせていただきました。

1か月を総括すると、3年ぶりと有観客という本物に触れあえる機会がとても増えたなという、そのように思います。ウィズコロナ社会が戻りつつあるなというのを体感して、1か月過ごさせていただきました。

最後ですけど、わずかな期間だったのですけれども、引きこもりの子にうちのミカン切りを手伝ってもらいました。休まずに一所懸命働いてくれて助かったのと同時に、その期間ふるさと学習センターのほうの子ども若者相談員の方にアドバイスをいただきながらできたので、最後まできちんとできたのかなと、その方々に感謝をいたしております。

自分からは以上です。

それでは、太田委員からお願いいたします。

よろしく願いいたします。

私は、この期間3つのイベントのほうに参加させていただきました。

11月13日の実業団駅伝は、観客というより自治会の方で補助員で参加させていただきました。今年から沿道に多数の地域住民の方々や関係の企業の方々が応援をされていて、なかなか盛り上がった大会になったのではないかと思います。

私は、赤羽根ですけれども、市民館のところの駐車場に新潟のほうからセキノ興産というチームがこの資料の結果を見ますと、ニューイヤースタートへは出られませんが、たくさんの方々が新潟からわざわざ応援に来ているという、また途中から雨が降ってきたものですから、そんな中で応援をしているという、大変力が入った方々が見えて、我々は本当に近くでこういう日本のトップアスリートの走りを見られるという、そういう恵まれた環境にあるわけですが、多くの方々が、先ほど話もありましたように、いろいろなメディアを通じて見ることができるのを、やはり生で見られるということのすばらしさを私は感じました。

それから11月26日、私は午後から小学校の音楽会へ参加させていただきました。これも3年ぶりということで講師の方々や担当の校長先生、やはり生で聞く場というこういう言葉がキーワードで、そのすばらしさをお話しされていました。私の孫も小学校6年生ですけれども、4年生、5年生と大会の音楽会へは出席できなくて、今年が最初

で最後の会ということで、大変多くの方々に聞いていただけるとい
う、そういう場を設けられたことはよかったのではないかなと思います
す。

これから、こういった音楽会、来年以降どうなっていくかというこ
とはまた、部活の在り方等もいろいろ考えさせられて、数年この会に
出ていますけど、やはり会自体は、観客も今回一般観客はありません
でしたので、ちょっと寂しくなっているなというように思いま
す。いろいろな学校現場で、これから部活動を対応していくわけです
けれども、子どもたちの成長だとか、充実感というものが練習の場、
時間は減ってきますけれども、そういったものをより効率的にやって
いくことが大事になってくるんじゃないかなということを感じながら
見させていただきました。

それから12月4日に人権ファンクションの講演会、齋藤真人校長先
生の「いいんだよ」は魔法の言葉、この講演に参加させていただきました。
副題にあります寛容の精神が醸成される社会へということで、
寛容ということの偉大さというか、大変さというか、そういうものを
改めてこの講演を通して考えさせられました。不登校の自立支援を
目指すような高校の校長先生ですけれども、不登校を解決するのではな
くて、安心して不登校でいられるというそういう構えであったり、違
っていることのほうが自然であるということで、平等だとか公平だ
とか、学校の社会が平等だとか公平というものの解釈が、この立花高校
とは違うのではないかなということを一一人が違っているこ
とが自然だという、こういう捉え方で子どもたちを見ていくという、
こういうどっしりとした構えが子どもたちに安心感を生んでくるん
じゃないかなということを感じました。とにかく人に迷惑をかけないよ
うにということをお父さんとか、学校だとかは説いていくのですけれど
も、安心して迷惑をかけられるような、そういう思いにさせるという、
そういう視点が、私が今までやってきたことと視点が違うような、こ
ういう捉え方をしていることが大変ショッキングというか、すばらし
いかなという、リスペクトするぐらいの気持ちになりました。

ただ、こういった構えで、親なり、教師が子どもに接するという
ことについてはそれなりの体制であったり、それから心身のゆとりであ
ったり、こういうものがないとなかなかこういった捉え方ができない
のではないかなということで、学校全体としてこのように取り組んで
みえるという、立花高等学校についてはすばらしい実践をしているな
ということを感じました。

いろいろイベントが徐々に行われてきて、そういうところに参加さ
せていただいて、いろいろ自分自身も自分の今の生き方や考え方を考
えさせる場面をいろいろ与えていただいて、大変充実した1か月だ
ったというように思います

教育長職務代理者

高崎委員

以上です。

ありがとうございました。

次に、高崎委員お願いします。

私は、前回の会議からこの1か月の間、教育委員として参加させていただく機会がございませんでした。理由を今からお伝えさせていただきたいと思います。そして、私自身はこの1か月間、今までにない大きな成長を遂げたと自分で思っております。

7月に余命宣告を受けておりました父が11月25日、他界いたしました。ですので26日の音楽会は、24日に危篤という連絡を受けておりましたので、残念ながら参加させていただくことができませんでした。家族葬で行わせていただきましたけれども、父も85年という生涯を閉じさせていただきましたので、それとなくご縁のあった方が最後のご挨拶に来てくださったこと、そして、私、田原市外からこちらにまいりましたけれども、父が生前、田原市に少し縁がありましたこと、ご縁がいらっしゃいましたらこの場を借りてお礼を申し上げたいと思います。そして、私が大きな成長を遂げさせていただいたと思う理由は、先ほど金田委員と太田委員がおっしゃってくださったことと共通しているかと思います。一つ目は、父の他界によること。二つ目には、この間、教育委員として相談を受けさせていただいた、この2点がございます。

まず初めに、父の他界に関することから申し上げたいと思います。

私が以前、家の仕事の関係でもう二十数年ほど前になるのですが、まだ働くお母さん方のお子さんを預ける先がないということで、小さいお子さんをお預かりしながら働いていただいていたという経験がございます。その際に、私保育士とか教師の資格を持っておりませんので、ベビーシッターの講座を民間ではございますけれども勉強させていただいたことがございます。各分野の講師の先生がいらっしゃいましたが、その中で先ほどの太田委員のおっしゃる安心感につながることを学ばせていただいたことがございます。「だいじょうぶだいじょうぶ」という絵本でございますけれども、学校でいじめを受け、学校に不登校になりがちだったお子さんが家に帰ったときにまず相談したのがおじいちゃんでした。おじいちゃんが大丈夫、大丈夫、おじいちゃんがついているから、大丈夫、大丈夫というおじいちゃんが守ってあげるから、退治してあげるからと、そんなような内容だったとうっすらとした記憶で思っております。こうした大丈夫、大丈夫という絶対にあなたの味方なんだよという安心感、こんなことを父の他界からこの絵本を思い出しました。

私、先ほど先生がおっしゃったような、みんな違ってみんないいという息子が中学を卒業するときの校長先生の言葉を思い出したのですが、こうしたみんな違ってみんないいという認め合う世の中、こうし

たことがこれからの日本の社会にはますます必要ではないかなと思っております。そして、心の支え、絶対的にあなたを守るんだよという安心感、こうしたことが子どもの成長にとっても大事であったのではないかなと成人した子どもたちを思い、そして父に受けた大きな愛情を思い、このようなことを父の他界から思い出した次第であります。

こうして深く内省する、自分を内観することができ、そしてその間に1件ご相談があったのですけれども、たまたま3回お電話がありまして、そしてまず最初のお電話で、学校に対しての相談はどこにすればいいんですかという相談でした。私今、個人的にコーチングというのを習っているものですから、彼女に私の意見を申し上げるということは立場的にも考えるところがありまして、彼女自身に答えを出していただかなければいけないのかな、でもこうした方は本来はカウンセリングが必要なのかなということを思っていたときに、彼女がご自分で学校にご連絡をされて、まず、お電話を取られたのが教頭先生だったそうです。そのお電話によってまた、ご連絡があったのですけれども、その際にだんだん、彼女自身で解決をされ、そして最終的に担任の先生、学年主任の先生が彼女が納得していただけるような、お子さんが安心して学校へ行けるような、そうしたような結果になったということをお伺いいたしました。これは、私が思いますにまず教頭先生がお電話と取られて、即対応されたことが一番大きかったのではないかなと思います。ですので、先ほど太田先生がおっしゃったように体制、心身のゆとり、これはお子さんと何かあったときには、成長にはとても大事なことなんだろうなと思います。

こうした理由から音楽会に出席できませんでしたが、それはとても残念でしたが、私自身が人間として大きく成長する機会を与えていただけたのではないかなと今回思った次第であります。

以上です。

ありがとうございます。

それでは、田中委員お願いします。

3件報告いたします。

田原市博物館の海から広がる渥美半島展へ行ってきました。

私は、せっかく渥美半島に住んでいるのに私の住む土地は海らしいところがなく、海のよさを知りたいと思い中学生の息子二人を連れて行きました。土曜日の午後ということもあってか、思いのほか人がいましたので、美術館や博物館特有のシーンとして足音が響いて、こそこそ話もできないような、心地よいけどという緊張感がなかったので、安心して息子たちとこそこそ話ししながら見られました。

学芸員の方がワークシートを勧めてくださったので、せっかくなので3人で参加してみました。奈良県や三重県は、陸では遠く感じますが、船では近く、重かったり大きなものの運搬がたやすく、東大寺の

教育長職務代理者

田中委員

瓦を渥美で焼いていたということを知り、なんだか誇らしくなりました。知ったつもりで全然知っていなかった海の保全活動についても驚きがあり、ウミガメの保護やビーチクリーニングはニュースでも見たことがあるので知っていましたが、ビーチコーミングという初耳の行いがあり、漂着物を採集して楽しむというすばらしい発想だなということがありました。ただのごみとして捨てるのではなく、楽しむというそういう心持ちを見習いたいなと思いました。

次に、11月26日、田原市小学校音楽会の午後の部に行ってきました。選曲がJポップが多く、ダンスがあったり、聞いていてとても楽しかったです。でも、私は1校目の合唱で既にもう感動してしまい、僕らはどんな未来だって行けるよという歌詞、コロナ禍でいろいろ狂ってしまったたり本当に、逆に改変のチャンスだったり、児童はもちろん先生方も大変な2年間だったと思いますが、よりよい未来にみんなで行かっけていきたいなと思いました。

2年前と変わったなと思ったことは、ソーシャルディスタンスで収容人数が減り、保護者の観客がなかったことです。6年生の保護者は、最初で最後の音楽会であり、学芸会などで見られてもやはりあのホールでの演奏を生で見たかっただろうなと思いました。

希望制になり、部員の確保が大変かなと思っていましたが、運動部と兼部している児童もいるようで、どの学校も工夫して練習しているようでとても素晴らしい会でした。

次に、12月4日の「いいんだよ」は魔法の言葉の講演を聞いてきました。

会場は、前の方に補聴器を使っている方のゾーンがあったり、手話通訳、要約筆記があり、いろいろな方が聞きやすい工夫がされていました。齋藤先生はとてにこやかで、ユーモラスな話し方でくすくすと笑ってしまったり、感動するエピソードでうるっとしてしまったり、あっという間の2時間でした。

私がふだん、何気なく使う当たり前という言葉がときに差別になり、多様性に理解があるつもりでいたんですけど、当たり前や普通が理想になっていました。先生は、できなかったことよりできたことを褒め、いろいろな場面でよかよかと温かく接していて、優しさにあふれていました。

日本では我慢が美德であったり、自己肯定感が低い人が多く、先進国の中で自殺者がとても多い国です。子どもの頃から齋藤先生のように、いろいろな大人ができたことを当たり前とせず、褒めてくれる存在であれば、日本人の自己肯定感ももっと高くなり、いろいろな人に優しい社会になるのではないかと思います。もっとたくさんの人にこの講演を聞いてほしかったなと思い、私も周りの人をもっと褒められるように努めようと思いました。

教育長職務代理者

以上です。

ありがとうございます。

それでは次に行きたいと思います。

(2) 田原市議会第4回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いいたします。

教育部長

教育委員会報告の次ページからお願いをします。

こちらは、12月の第4回定例会の一般質問の一覧表になっております。全部で7人の議員さんから質問をいただきました。その中で、1ページ目の2番、公明党の田原市議団の辻史子議員から、教育委員会の関係の質問としまして、「多様な選択肢のある中学校の制服について」ということの質問をいただきました。今回については、そのほかでは、市長の今後の進退という7番の質問等、今の任期の議員さんがこれで最後の議会になるということで、それぞれを総括するような質問も多かったのが特徴でございます。

それでは、具体的に辻史子議員の一般質問について概要をお伝えしていきたいと思います。

2ページおめくりいただきますと、令和4年第4回定例会一般質問ということで、質問項目があるかと思えます。もう1ページ進んでいただいでよろしいでしょうか。その概要をまとめたものを見ていただきたいと思えます。

辻史子議員の多様な選択肢のある中学校の制服についてということで、当初の質問については、全国の中学校、高等学校では、多様な選択肢のある制服の導入が広がってきている。性別を問わず誰もが着ることのできるジェンダーレス制服の導入や、保護者の経済的負担を考慮して新旧の制服を組み合わせる学校もある。そこで、本市の各中学校の制服の取組について何うという質問要旨でございました。その質問については、市内4中学校の状況について説明いたしました。

福江中学校の制服は、学生服、セーラー服に加えて、性別等を問わないブレザータイプの制服を導入しています。

また、他の3校の制服は学生服と現状セーラー服で、どちらの制服も今、選択できるようになっておりまして、東部中学校では令和5年4月からブレザータイプの制服も選択できるようになりますということをお報告いたしました。辻議員のこの質問の要旨としては、保護者の経済的負担の解消という下で、党の方針によるいわゆるジェンダーレス、男女、性別などを問わないような選択肢ということがポイントになっております。

次に、福江中学校の状況についての質問がございました。

福江中学校については、伊良湖岬中学校との統合で福江高校と同じデザインのブレザータイプの制服の検討が進められ、令和元年度から

導入をいたしました。令和3年度からは、また生徒の要望を受け、性別等を問わず、スラックスとスカート、ネクタイとリボンを選択できるようになっていると回答いたしました。

東部中学校については、令和3年度に制服についての意識調査としてアンケートを実施しています。それで、制服の見直しについての必要性を感じている意見が半数以上あったことから新たな選択肢としてブレザータイプの制服の導入についてを検討を進め、令和4年度のPTA総会で承認され、校区小学校に周知を図り、令和5年度から着用できるようになると回答いたしました。

次に、田原中学校と赤羽根中学校についてはどのような検討が進められていますかという質問に対して、田原中学校では今年度の2学期に制服に関するアンケートを実施しました。結果では、現行の制服について見直しの必要性があるという意見が半数以上であったため、令和6年度からブレザータイプの制服を選択できるように検討を進めています。

赤羽根中学校は泉中学校との統合準備委員会で制服の取扱いを検討し、経済的負担等を考慮して統合時に1年生の生徒が卒業する令和5年度までは、赤羽根中学校、泉中学校どちらの制服も着用可能となっております。

次に、経済性や多様性を考慮した制服の取扱いについて、本市の考え方を伺うという質問がございました。

制服の取扱いは、各学校において判断するものであり、児童生徒、保護者等の意見を踏まえ、経済性や多様性に配慮しつつ時代の変化に適応した見直しを検討することが大切であると考えているという回答をしました。

田原市においては、ほかの市町に比べまして制服の検討については、比較的進んでいるということが言えます。また、制服の取扱いについては、市ではなくて学校単位で考えていただくというのを前提としておりますので、このような答えをさせていただきました。

以上になります。

教育長職務代理者

ただいま事務局の説明がありました。

田原市議会第4回定例会一般質問についてご質問等ございましたらお願いいたします。

太田委員

制服に関しては、私もあまり状況はよく分かっていないですが、アンケートの中で見直しが必要であるという、こういう意見については今の現行のものがどういうことで支障があるために見直しが必要だというように捉えているのでしょうか。

学校教育課長

現行の制服は、やはり男性、女性みたいな、そういう形もありますし、今言われたジェンダーレス、どちらも男性でも女性でも同じもの

をと、というそういった考えがあるものですから、今までのがいけないというわけではなくて、それについてどうかという意識調査をしたところ、このままでいいという意見よりも、見直していく必要があるという意見が半数以上を超えたことで、この制服の見直しが進められたということです。

太田委員 経済的な部分でいうと、今まで制服とブレザータイプのものというのは違いがあるのですか。

学校教育課長 価格はほぼ変わりません。

太田委員 変わらないですね。

学校教育課長 ブレザータイプだと、中にシャツとかネクタイだとか、ブレザーだけでない部分があるものですから、価格はそんなに変わらないです。

教育部長 また、学校が違ってその前のお古といったらおかしいですね、前に使っていたものをそのまま使えるという、そういうことも可能であるということも考えております。

学校教育課長 切り替えるというよりも、付け加わるとい感じですか。

太田委員 選択ができるということですか。

学校教育課長 そうです。

田中委員 来年度からは、旧制服は着ないようにと言われました。たしか。

事務局 そうですか。

太田委員 あれもいい、これもいいという、制服らしくなくなって、どれでもよくなってしまふと、制服ってじゃあ何なんだろうなというような、そんな捉え方をする人もいると思うので、いろいろな人が、先程の議論になると、違っていいのだけれどもある程度どこかで線を引かないと、という分で言うと、制服は必要ないじゃないかというような、そういう意見もアンケートなどをすると出てきたのか、その辺もよく分からないですけれども、どこまで広げていくかというのは大変難しいと思います。

教育長職務代理者 すみません、意見になって申し訳ありません。

ほかによろしいでしょうか。

ご質問もないようですので、次、(3) 中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について、事務局から報告をお願いします。

スポーツ課長 お願いします。

第62回中部・第52回北陸実業団駅伝競走大会が11月13日の日曜日に行われ、午後から天候が心配され、結構強い雨が降ったのですが、無事終了いたしました。昨年、中部実業団で言いますと、トヨタ紡織が優勝しまして、トヨタ自動車は2位という結果ですが、今年はトヨタ自動車が1位、2位がトヨタ紡織、3位がNTN、これは三重県のチームですが、入賞している結果になっております。また、区間賞のほうもトヨタ自動車だけではなく、愛知製鋼、あと中部実業団選抜というオープンチームの宮脇選手という有名な選手ですが、区間賞を取っ

たりしてなかなか白熱したチーム争いのあった大会だと思っております。

また、その裏面ですが各チームの記録、個人記録も全て載っております。実際、こちらの公認、大学を除いたチームでいいますと、3チームが繰り上げ区間の中で先頭から10分以上離れたという形で繰り上げがあったチームが3チームほどございました。

また、その隣のページで北陸実業団駅伝の結果ですが、YKKこちらがずっと勝っていますが、約1分ほどの差で今年もニューイヤー駅伝の権利を獲得しております。ただ、2位のセキノ興産、こちらは先ほど太田委員からもお話しあったとおり、新潟とか豊橋の工場とかボランティアで総動員でお手伝いしますという形で数人お手伝いをしていただいたチームですので、ちょっと私としても思い入れがあったのですが、とてもいい記録が出まして、結果でニューイヤー駅伝に行けなかった2位ですが、YKKに匹敵するような北陸ではレベルのチームに仕上がったと思っております。

また、その裏面には、北陸実業団の個人記録等が載っております。その次のページが、オープン参加の大学チーム、皇學館大学、あとは中京大学が今大会出場してくれまして、両チームとも4時間10分台という記録で走っております。こちらは、繰り上げがあったのですが、10分台ですと中部実業団の中でも一番最後にはならない、北陸ですと高田自衛隊と各チーム同格レベルのタイムで実業団と走っている2チームになったという結果になっております。

以上になります。よろしく申し上げます。

事務局から説明が終わりました。

中部・北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について、ご質問等ありましたらお願いします。

よろしいでしょうか。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長職務代理者

教育長職務代理者
教育総務課長

最後に大きな4点目、その他について事務局から何かございますか。レジュメの下に記載のとおり、次回の日程等をご説明したいと思います。資料は、先ほどの駅伝の次の資料になります。

最初に、表の中を見ていただきまして、本日12月16日第12回の定例会が終わりますと、1月は少し行事が多ございます。お許しをいただきたいと思っております。

8日については、二十歳の集いがございます。

次回の委員会につきましては、1月20日、会場が200会議室ではなくて、今日のこの場所の政策会議室で1時半から行いたいと思っておりますのでお願いいたします。

また、それが終わり次第、太田委員には申し訳ありませんけど、奨

学金の選考会を予定してありますので続けてお願いしたいと思いません。

14日以降それぞれ記載してございます。2月につきましては、17日に第2回の教育委員会を予定しております。

3月末までに書いてございますが、3月の教育委員会はまだ日程を定めておりませんので、また決まり次第、改めてご連絡したいと思います。

また、こちらに記載してございませませんが、恒例のごとく3月31日は臨時の教育委員会を予定しております。午前中を予定しておりますので、3月31日10時から臨時の教育委員会、内容的には職務代理者の選任であったり、市民館の館長の任命等々の議案が予定されているとっております。あと11時から教員の退職辞令がございませ。

今年は、4月1、2日と土日になりますので、4月3日に教育委員会の打合せ会を同じ10時頃から開催をしたいと思っております。その後、新しい教育委員会の辞令交付式、また、教員の辞令交付式にご参加をお願いしたいと思います。

そのほか、裏面につきましては、イベント等の関連行事でございませるので、ご参考いただければと思っております。

私からは以上でございませ。

ほかによろしいでしょうか。

補足をさせていただきたいと思いません。

小学校、中学校の卒業式に関しましても、今のところの予定で出席していただきたいと思っております。小学校の卒業式が3月20日月曜日です。中学校が3月7日火曜日に予定しておりますので、またこの会が終わりましたらご希望の学校をというように考えておりますので、よろしく願います。

ほかによろしいでしょうか。

先ほど、一部の委員さんにはご説明しましたが、お手元の令和5年1月8日日曜日ですけれども、二十歳の集いのご案内ということで、ご出席をいただきたいと思いません。

ご存知かと思いませんけど、今回も田原会場と渥美会場、2会場に分かれますので、それぞれ委員さん方には2か所に分かれていただくという形になります。今、高崎委員さんにはご都合が悪いということでお伺いしましたので、何かありましたら生涯学習課にご連絡いただければと思いません。

よろしく願います。

ほかにも、ありませんか。

図書館のからのお知らせです、たはらとLeafを配付させていただきました。12月から1月にかけての年末年始のイベントと表紙には、先日開催しました図書館で農マルシェの様子などが報告がありますの

教育長職務代理者
教育総務課長

教育長職務代理者
生涯学習課主幹

教育長職務代理者
図書館長

教育長職務代理者
スポーツ課長

でまたご覧ください。

そのほかよろしいでしょうか。

一つだけお願いいたします。

1月21日に行います第69回渥美半島駅伝でございますが、参加チームが固まりまして、全チームで72チーム、一般が15チーム、高校男子が37チーム、女子が20チームとなっております。

コロナで2年ほど中止となっております、平成31年度が106チームだったのですが、今回は72チームという形で少し少なめですが、やはりコロナの影響や陸上部の部員不足などもありまして、今の数字になっていますが、参加してくれるチームは70チームを超え、実施していきますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

教育長職務代理者
文化財課長

ほかによろしいでしょうか。

今日、配布物で崙山会報を崙山会から配布をさせていただきました。中を見ていただきますと増山部長の博物館に対する館長としての30年の思いというのが書かれておりますので、またお時間のあるときにぜひお読みいただくとありがたいと思います。

以上です。よろしくお願ひします。

教育長職務代理者

ほかによろしいでしょうか。

最後に、委員の皆さんから何かございましたら。

よろしいでしょうか。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市教育委員会第12回定例会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後4時30分

教育長

委員

委員